

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	港営部 港湾利用高度化担当課長	連携担当課 (港営部)管財課 (建設部)管理課
基本施策名	02ロジスティクスハブ機能の強化				
個別施策名	09ロジスティクス機能を拡充する				
事務事業名	01西部地区への物流センターの誘致		連絡先	052-654-7964	

1 PLAN(目的・概要)

目的	物流センターを誘致し立地させ、ロジスティクス機能を強化します。	事業期間	平成16年度～継続
概要	コンテナ機能が集積する西部地区において、名古屋港のロジスティクス機能の強化・高度化に資する物流センターを公募します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・鍋田ふ頭貸付地ロジスティクスハブ形成事業の公募を引き続き実施しました。また、名古屋港のロジスティクス機能を紹介し、利用促進を図るため、国際物流総合展2010に出展するとともに、長野県及び滋賀県の企業にポートセールスを行いました。 ・23年度もポートセールスを行い、名古屋港の利用促進を図ります。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
公募件数(累計)	単位	目標	0	2	2	2	2	2	貸付地2件(内1件公募中)
	件	実績	0	1	1	1			
国際物流展アンケート回収件数	単位	目標	-	500	-	500	-	-	アンケートの回収件数を把握することにより、名古屋港への進出意欲の高さを見ます。
	件	実績	-	450	-	222			
事業費	千円	0	2,043	49	1,417	79			
人員	正規職員	人	0.20	2.00	1.15	2.00	0.50		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	1,737	17,540	9,869	16,962	4,384			
事業費・人件費の合計	千円	1,737	19,583	9,918	18,379	4,463			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
事業着手件数(累計)	単位	目標	0	2	2	2	2	2		
	件	実績	0	1	1	1				
	達成率(%)	0.0	50.0	50.0	50.0					
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項	
	観点	有・無	現状の「見える化」							その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・無	・名古屋港のロジスティクス機能の強化を図るため、ロジスティクスハブ形成事業の必要性は高いと考えますが、公募用地に関する利用者ニーズを把握する必要があると考えます。							※事務事業の目的(対象・意図)が類似しているため、次の事務事業をこの事務事業に整理統合しました。 1-02-09-02名古屋港に立地する企業に対する各種優遇制度の活用 1-02-09-03国際物流総合展への出展
	目的・水準の妥当性	有・無								
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・無								
	成果の達成度	有・無	・20年度より「鍋田ふ頭ロジスティクスハブ形成事業」を実施していますが、景気低迷等の影響を受け、事業着手には至っていないため、課題を整理する必要があると考えます。							
効率性	内容の妥当性	有・無								
	実施主体の妥当性	有・無								
	受益者負担の適正性	有・無	・本組合の政策として、名古屋港のロジスティクス機能の強化を目指しているため、実施主体は妥当であると考えます。							
経済性	有・無									

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	経済状況における土地需要の低下のため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
企業訪問による国内企業ポートセールスや愛知県等が主催する産業立地キャラバンに参加し、名古屋港の利用及び企業進出を促します。			